



就労支援 A 型・B 型事業所 利用者募集中！

株式会社ジルベルトは「障がい者を納税者に」を Vision に掲げ、毎年 10 人近くの就職者を輩出しています。自立したい、もう一度働きたい、自信をつけたい、そんな方をサポートします。日々しっかりと仕事をこなして頂くので就職するための準備が自然と身につきます。

施設外作業

清掃業務

動画編集

データ入力

古着事業

在宅利用^{*}も可能です。詳細については、お電話又は公式 LINE よりお問い合わせください。

※在宅利用についてはお住まいの市町村で定められた条件があります。

公式 LINE のお友だち登録はこちらから



YouTube配信中

就労支援ファンタジスタの事業完全ガイドTV

就労支援のあるある、良い事業所の見分け方、タメになるノウハウから最新の時事ネタまで！週3回更新！是非チャンネル登録をお願いします！



就労継続支援 A 型事業所・B 型事業所
株式会社 ジルベルト

〒654-0151 神戸市須磨区北落合1丁目1番4号
白川コーポレーションビル101号

TEL:078-747-0505

FAX:078-747-0506 <https://gilberto.co.jp/>
営業時間:9時~18時 休日:土・日・祝



ジルベルトから就職して半年定着をしたメンバーに聞いてみた！



ジルベルト 就職者インタビュー

支援員 岡嶋政宏

× ウエハタさん

#02

障がいを抱えながら社会人として活躍する先輩の「今」とあの頃について聞いてみました！

ジルベルトでの思い出

岡嶋(以下 岡):ジルベルトでの思い出ってなんかあったりします？

植畑(以下 植):思い出ですか？

岡:はい。覚えてることでなんでもいいんですけど

植:パソコン作業するときって基本黙々と作業をするんですけど、施設外に行ったらその間に苦手な人、苦手じゃない人もなんだかんだ行き帰りはしゃべるじゃないですか？移動時間って重要ですよね？趣味とか仕事のことでいいんですけど人と話せる機会が多かったのが良い思い出ですね。

岡:なるほど。

植:施設外に行くとジルベルト以外の人も関わって話すことが多いじゃないですか？

岡:確かに施設外の担当の人とかですよ？

植:その環境って就職した時のイメージに近いのかな？なんか僕的には思うんですけど、就職してる人って施設外に結構行く人が多いイメージなんで施設外の人とやっぱり仕事してるっていうのはまた自分にとって就職するのに良い経験だったと思います。

岡:そうですね。

植:企業の人と話すと事業所の中の人と話すととはまた違いますね。ずっとパソコンしてもやっぱりその仕事してるって実感沸きづらいままお金をもらってると思うんですよパソコン作業って。

岡:植畑さんってもともと人と話すのってどうだったんですか？

植:話すのは好きやったんですけど、なんか話す話題が見つからないみたいな？なんか経験が足りない方みたいなの。なので、何だかんだいろんな人と話せる環境なのがよかったです。

岡:なるほどなるほど。

植:同じ人ばかりじゃなくて、いろんな人と話した方が実践経験積みやすいですね

岡:植畑さんそんなこと思ってくれてめっちゃいい話じゃないですか！ジルベルトの思い出はスタッフとかサポーターとか施設外の人とか、いろいろ話すことができたって事ですね？

植:車で助手席座った時に話していたのが結構楽しかったです。

岡:サポーターと？

植:しゃべる機会ないじゃないですか？

岡:確かに助手席ちょっと特等席感ありますね。植畑さんと隣になったこと確か何回もあった気もするね。

植:そういう時、僕ずっとならしゃべってますね。へへへ。

岡:就活の時とかも僕と一緒に車で移動したりとかありましたもんね

植:はい、ありましたね。その時よくしゃべった記憶がある、へへへ。しゃべってる時が楽しいです。

岡:そっかそっか いい思い出ですね。

GILBERTO

就活について

岡嶋(以下 岡):植畑さんの就職活動3社くらい受けたと思うんですけど就職活動の期間って実際どれくらいでしたか?

植畑(以下 植):就活の期間1ヶ月もなかったと思います。スピードでバツと行ったんで超短期集中でやりました。

岡:一気に僕と履歴書作って志望動機とか考えて、スタートしてから就職するまでの期間も1ヶ月くらい?

植:そうですね確かに確かに。

岡:短期集中で就活の時に苦労したこととか覚えてたりします?

植:やっぱり緊張することじゃないですか?実際、面接を受ける前はめっちゃ緊張するんですけど受け始めるとこんなもなくて感じ。緊張感あるけど終わってしまえば意外と「こんなもんか」って思いました

岡:面接の練習とかってしてましたっけ?

植:僕は最初グリーンアリーナをメインで行きたいって組んでたんで、希望が低い順に面接受けに行ったんですね、練習を兼ねて。第一希望の面接への練習みたいな感じに思っていました。

岡:植畑さん的には志望度が低いところから順番に受けて練習してたからグリーンアリーナは割と落ち着いてできたって言う事ですね?

植:僕みたいに細かい事を考えれない人は、台本作って言っても覚えれないんですよ(笑)

岡:確かに一緒に作ったけど「これ別に完璧に出来なくてもいいんですよね?」みたいな事言っていましたね(笑)

植:そう、だからある程度言いたいことを固めていくのが僕に合っていましたね。



GILBERTO

就職先での人間関係について

岡嶋(以下 岡):あとは就職してからの人間関係がどんな感じだったかっていうのを改めて聞きたいんですけど?

植畑(以下 植):人間関係は基本みんな良い人ですね。ただ、人によって言ってることが違ったりするじゃないですか?それでちょっと色々仕事に対しての考え方やと言われる事もあって、それでなんかこの人苦手だなーみたいな。そう言うのはあったりしてたんですけど、マネージャーと相談して対応してもらいました。

岡:やっぱり言ってることとか考え方が違うってなった時、植畑さんの中で相談というか、意見交換は必要だったんですか?

植:そうですね。マネージャーとか仲良く話聞いてくれました。やっぱり長年居続けてる人って自分の仕事に対するプライドみたいなのがありますね。

岡:確かに。植畑さんは相談するとか意見交換するとかにあんまり躊躇なかったんですか?

植:あんまりなかったです。最初からいきなりドンって言わずにちょっとずつ言っていくみたいな。「あの人今日こんなこと言ってたんですけど」とか。ちょっとずつちょっとずつ情報を言っていくって、で相談。

岡:こまめにちょっとずつ相談するようにしていったら、そんなにハードルは高くなかったんですか?

植:そうですね。ちょっとずつが大事ですね。

岡:自分の思ってること言えなかったりとか、相談したらどう思われるかなって気にする人多いと思うんですけど、植畑さんはそういうのあんまりなかったんですか?

植:僕はあんまりないですね。自分のことをちゃんとと言わないと周り分からないと思うので。逆もしかりですけどちゃんとと言ってほしいとこっちは分からないから。特に伝えた方が自分以外にもメリットがあるような内容だったら特に早く言いますね。

岡:そうだな確かに。それ大事ですね。

植:自分が我慢しても状況変わらないパターンと、伝えたら今の状況が改善して自分以外にもメリットがあって働きやすくなることがあったので、その場合は速やかに相談しますね。

岡:確かに。めっちゃ大事ですね。



就職してどうだった?

岡嶋(以下 岡):結果的にどうですか?就職してよかったですか?

岡:そうですね。僕、中学ほぼ行ってなかったんで。高校も行ったけどほぼ行ってないんで。実際そこから、その人間が実際仕事に始めるっていうのはなかなか難しいと思ってました。働き始める事が1だとしたら、僕は0だったんですよ。0から1に行くまでが結構難しいと思うんですけど、ジルベルトで0.5は僕の中で経験を積めたって感じなんです。

岡:なるほど、なるほど。そっかそっか。高いハードルを乗り越えるために必要な。しっかり段階を踏めたって感覚だったんですね。

植:僕は1回、高校卒業して薬局のキリン堂(ドラッグストア)で働いたんですけど、ちょっと無理して挫折してしまっただけ。

岡:一回挫折も一回は経験してると、ジルベルト来る前ですね。ジルベルトを利用してどれくらいでしたっけ?一年くらい働いてました?

植:一年ちょっとじゃないですかね? その0.5をジルベルトで一年間くらい経験して、0.9くらいに成長してから就職の1にもう一回再挑戦したらうまくいったってことです。

岡:なるほど。就職できて良かったですね。それを聞いて安心しました。

通勤の日のウエハタさんのスケジュール

- 8時 起床
- もろもろ準備
- 9時 家を出る
- 9時30分~
- ジムでトレーニング
- 12時 ジムを出発
- 12時45分 出社
- 13時 業務開始
- 休憩
- 21時 業務終了
- 22時 帰宅
- 趣味(動画見る)
- 24時 就寝



GILBERTO

今後の目標

僕の人生の座右の銘は蝶突猛進。苦手な人でも一生懸命仲良くなろうと思ったら伝わると思います。そういう意識を持って働くと誰かが助けてくれる。だから卑屈にならず色々深いことは考えずにとりあえずやってみるっていう気持ちを大事にして、周りに何かを思われてるかとか考えずにとりあえずやって行きたいと思っています。



就活中の人に向けてメッセージ

A型やB型ならいつでも助けてくれる人はいるけど、一般社会に出たら「支えてくれる人はいない」って思いがちだと思います。でも実際、就職してちゃんと周りの人と話したら、自分の苦手な事を周りが悟ってくれて助けてくれるんですよ。だから、一般社会に行ったら助けてくれる人いないんじゃないか?って不安は持ち過ぎないようにした方がいいですね。僕は一度に沢山の事を言われると覚えようと努力はするんですが忘れてしまう事も多くて、その事についてはみんな理解してくれて、メモを渡してくれる様になりました。一個ずつ言って片付けてからまた次の一個言ってくれる様になりました。

ウエハタ タケシさん (22歳)

- 神戸市出身
- ジルベルト 2023年1月入社
- 当時の担当業務:施設外就労
- 2024年3月 一般就職
- ジムトレーナー アルバイト

